

長野市
アンケート調査報告書
(一般市民)

集計報告書

平成 27 年 9 月
長野市

目次

調査概要	1
調査の目的.....	3
調査の概要.....	3
この報告書の見方.....	3
一般住民調査結果.....	5
【あなたご自身のことについてお聞きします。】	6
【あなたのご家庭やご近所のことについてお聞きします。】	9
【福祉についてお聞きします。】	12
【障害のある人との関わりについてお聞きします。】	18
【今後の行政の福祉施策についてお聞きします。】	26

調査概要

調査の目的

長野市では現在、障害のある人の生活のさらなる向上をめざし、平成 23 年度に策定した「長野市障害者基本計画」（10 ヶ年計画）の中間見直しを進めています。本アンケート調査は、計画を策定するうえでの基礎資料として活用するため、住民の方の意識・意見を把握することを目的に実施したものです。

調査の概要

- 調査対象：
当事者アンケート：3,500 人（無作為抽出）
* 障害者手帳、障害福祉サービス及び自立支援医療受給者証をお持ちの方
一般アンケート：市民 1,000 人（無作為抽出）
- 調査期間：2015 年 6 月 25 日から 7 月 5 日
- 調査方法：郵送配布・郵送収集

- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
当事者	3250 票	2068 票	63.6%
当事者（子ども）	250 票	171 票	68.4%
一般	1000 票	575 票	57.5%
障害者団体	11 票	7 票	63.6%
事業所	60 票	38 票	63.3%

この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100% として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100% にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100% を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 一部のグラフでは 5 以下の数値を表示していません。

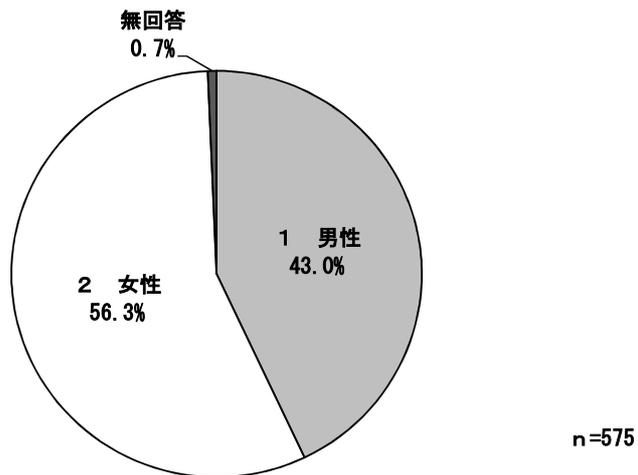
一般住民調查結果

【あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別・年齢・ご職業・お住まいを教えてください。

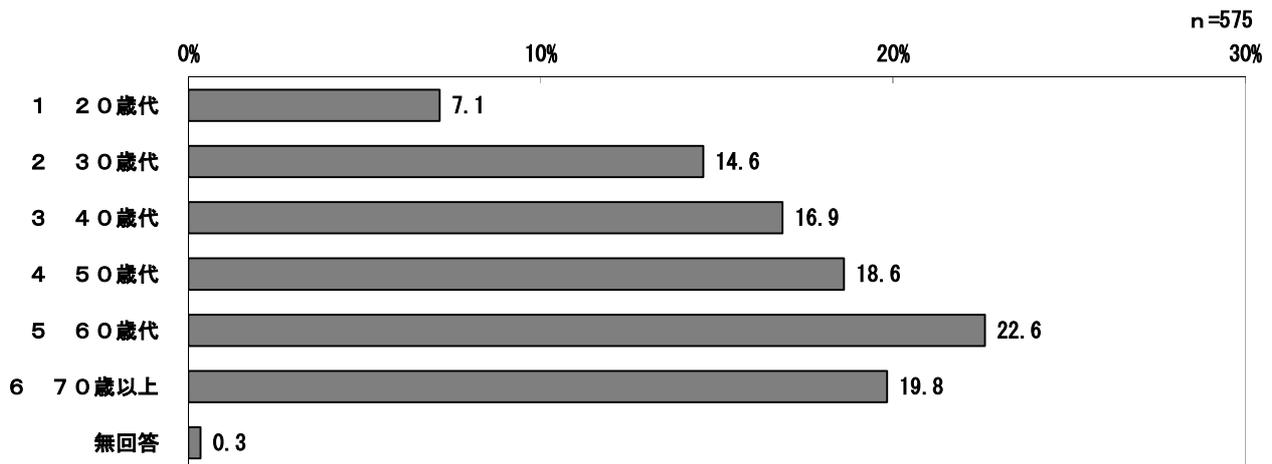
F1 性別は

「1 男性」が43.0%、「2 女性」が56.3%となっています。



F2 年齢は

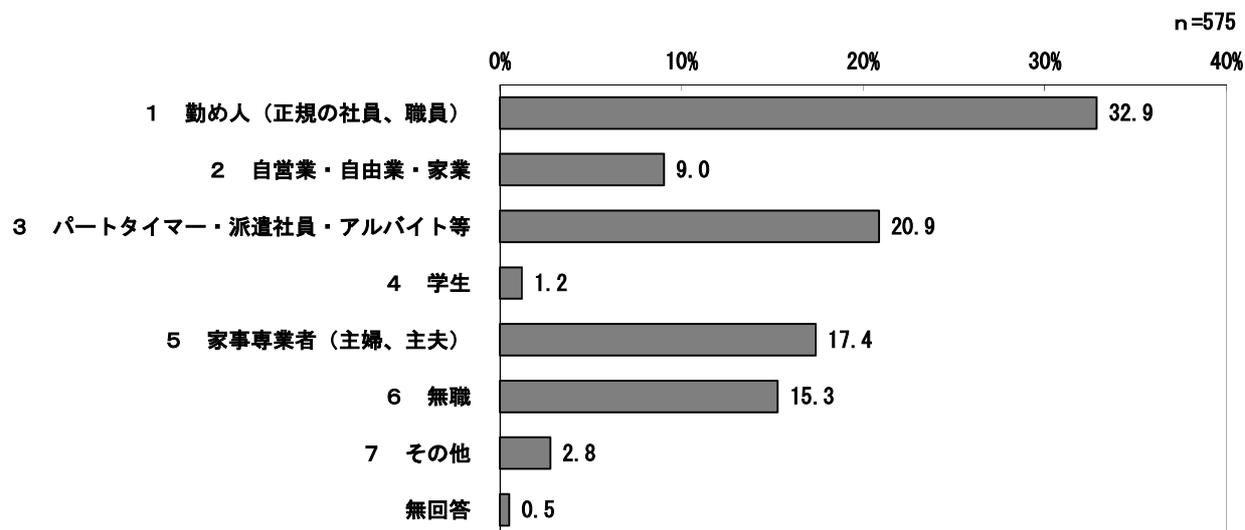
「5 60歳代」が22.6%で最も多く、次いで「6 70歳以上」が19.8%、「4 50歳代」が18.6%、「3 40歳代」が16.9%、「2 30歳代」が14.6%となっています。



F3 職業は

「1 勤め人（正規の社員、職員）」が 32.9%で最も多く、次いで「3 パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」が 20.9%、「5 家事専業者（主婦、主夫）」が 17.4%、「6 無職」が 15.3%、「2 自営業・自由業・家業」が 9.0%となっています。

「19 篠ノ井」が 10.8%で最も多く、次いで「21 更北」が 8.2%、「20 川中島」が 7.7%、「10 安茂里」が 5.7%、「22 松代」が 5.2%となっています。

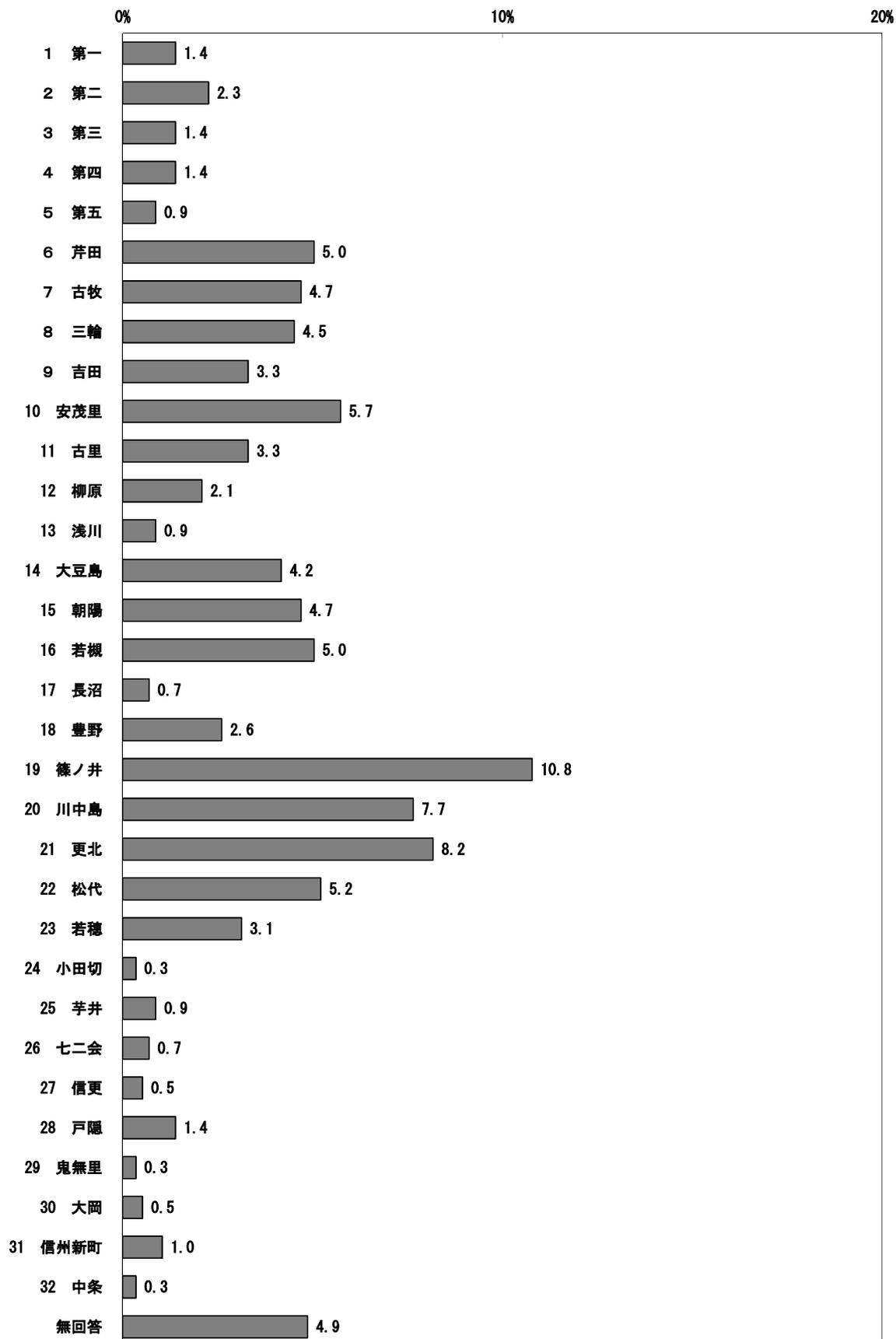


●主な「その他」記入：法人代表取締役／農業／シルバーセンターで時に応じてパートタイマ／HP ヘルパー／など

F4 お住まいは

「19 篠ノ井」が 10.8%で最も多く、次いで「21 更北」が 8.2%、「20 川中島」が 7.7%、「10 安茂里」が 5.7%、「22 松代」が 5.2%となっています。

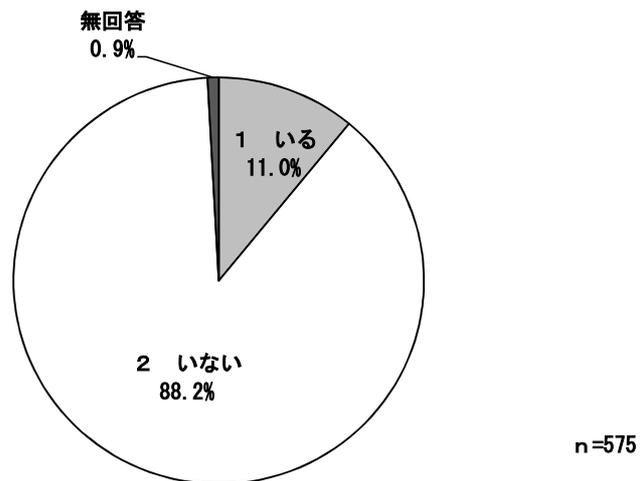
n=575



【あなたのご家庭やご近所のことについてお聞きします。】

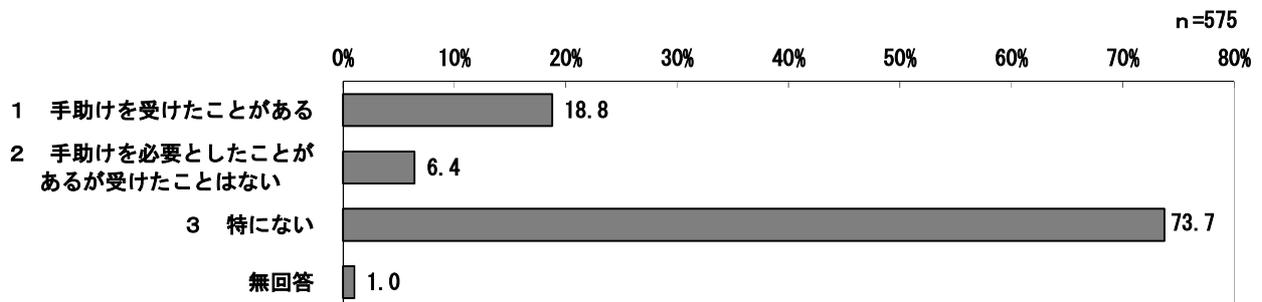
問2 あなた、もしくは同居している家族の中に、障害のある人がいらっしゃいますか。

「1 いる」が11.0%、「2 いない」が88.2%となっています。



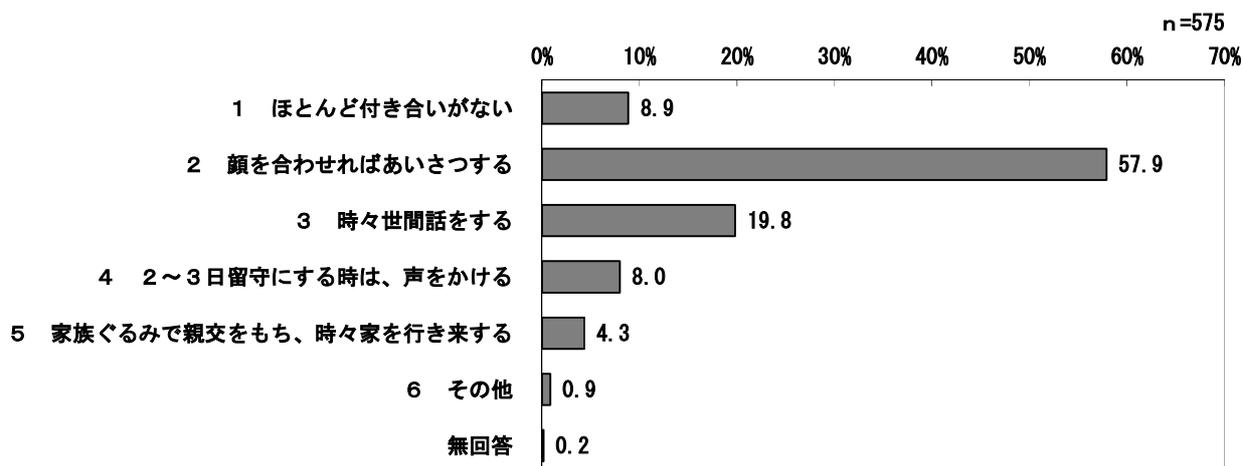
問3 あなたが病気、けが、妊娠など、何らかの理由で、家族以外の人の手助けを必要としたことや、実際に手助けを受けたことがありますか。

「3 特にない」が73.7%で最も多く、次いで「1 手助けを受けたことがある」が18.8%、「2 手助けを必要としたことがあるが受けたことはない」が6.4%となっています。



問4 あなたは、普段近所の人と、どの程度のお付き合いをしていますか。

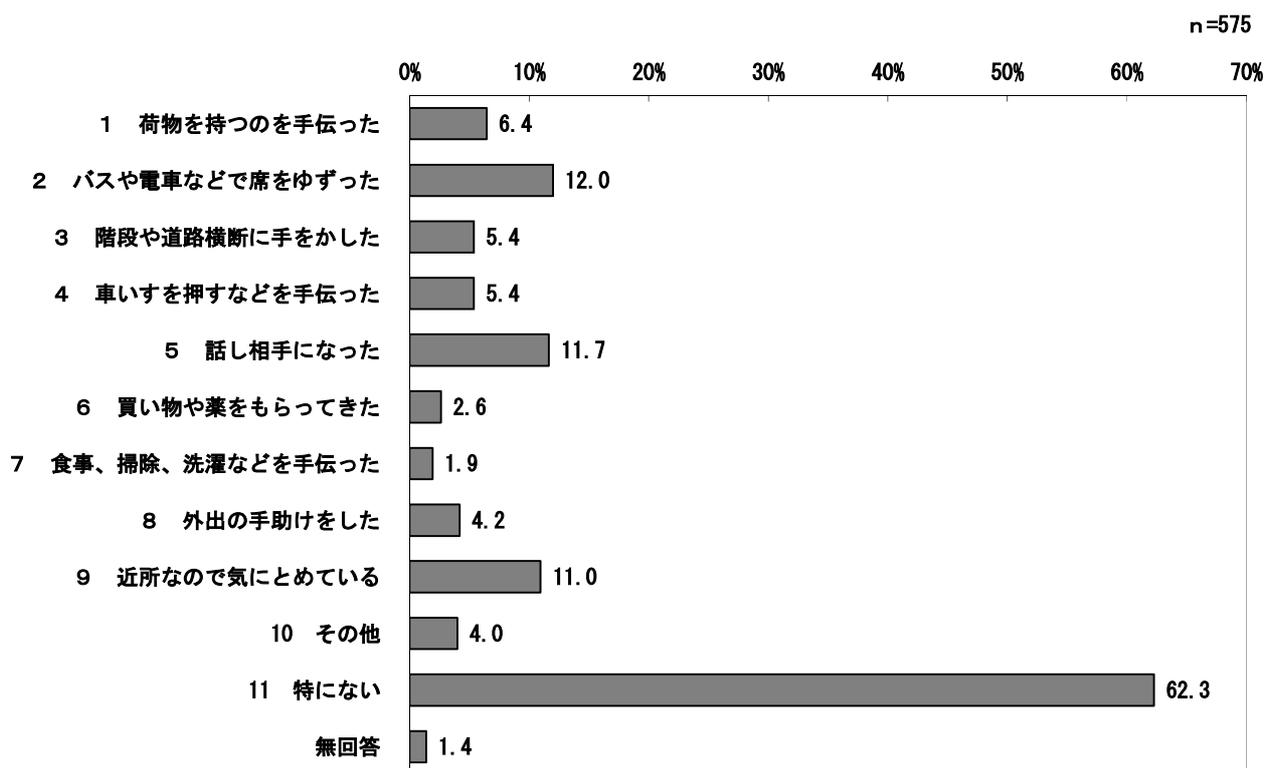
「2 顔を合わせればあいさつする」が 57.9%で最も多く、次いで「3 時々世間話をする」が 19.8%、「1 ほとんど付き合いがない」が 8.9%、「4 2～3日留守にする時は、声をかける」が 8.0%、「5 家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する」が 4.3%となっています。



●主な「その他」記入：月に1回茶会する／地区の役員として、毎週会議に出る／あいさつ＆野菜などおすそわけ／野菜、菓子などおすそ分けしたり、頂いたりしている／など

問5 あなたは、この1年間に地域の中や近所において、障害のある人に対して次のような手助けをしたことがありますか。

「11 特にない」が62.3%で最も多く、次いで「2 バスや電車などで席をゆずった」が12.0%、「5 話し相手になった」が11.7%、「9 近所なので気にとめている」が11.0%、「1 荷物を持つのを手伝った」が6.4%となっています。

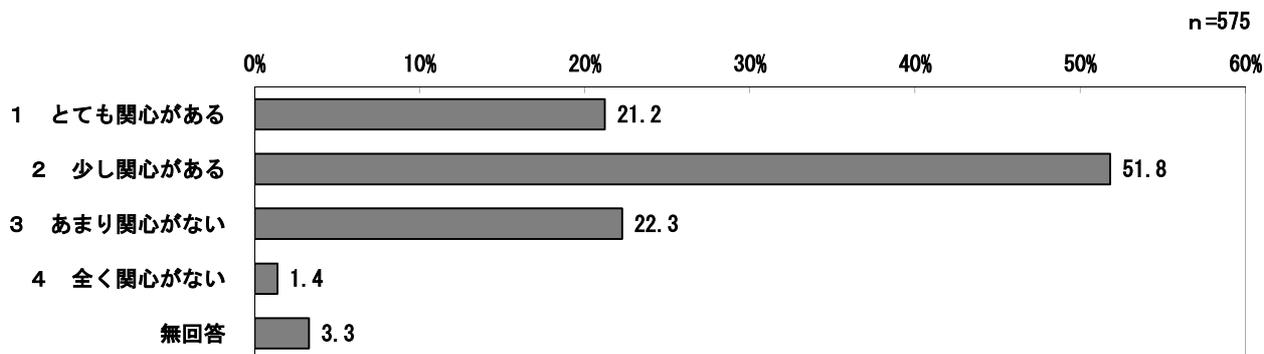


●主な「その他」記入：障害のある方と出会うことがあまりありません／目の悪い人をスーパーで手を取って受付までつれていった／職場で／実家両親の介護／時々草取りの手伝いする／トイレの介助／など

【福祉についてお聞きします。】

問6 あなたは、福祉について関心がありますか。

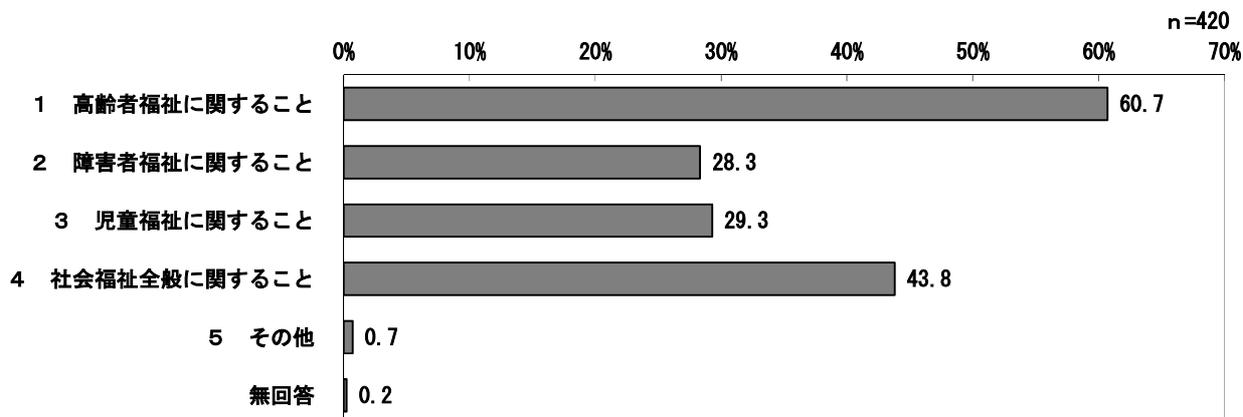
「2 少し関心がある」が51.8%で最も多く、次いで「3 あまり関心がない」が22.3%、「1 とても関心がある」が21.2%、「4 全く関心がない」が1.4%となっています。



▼問6で「1 とても関心がある」「2 少し関心がある」を選択した方にお聞きします。

問6① 福祉のどのような分野に関心がありますか。

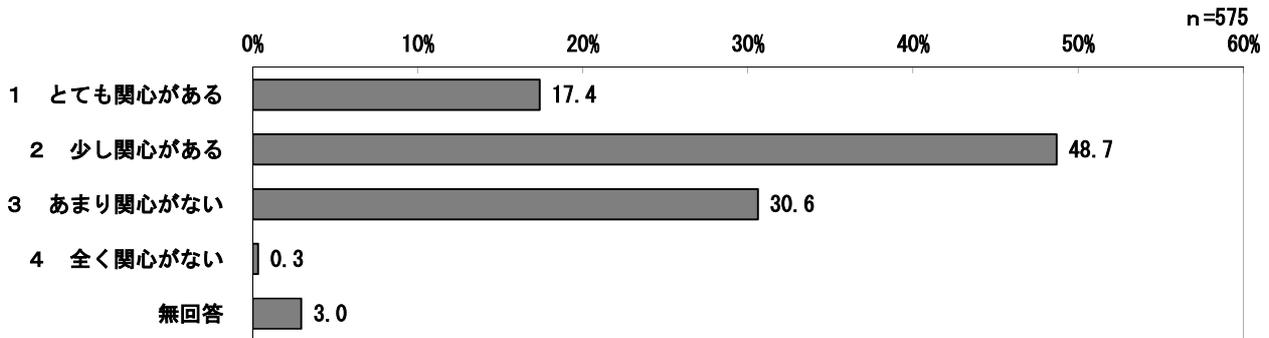
「1 高齢者福祉に関すること」が60.7%で最も多く、次いで「4 社会福祉全般に関すること」が43.8%、「3 児童福祉に関すること」が29.3%、「2 障害者福祉に関すること」が28.3%、「5 その他」が0.7%となっています。



●主な「その他」記入: 貧困・孤立化防止などの社会政策論(なんとかインカムとか)／動物福祉／家族／など

問7 あなたは、障害のある人に対して関心をお持ちですか。

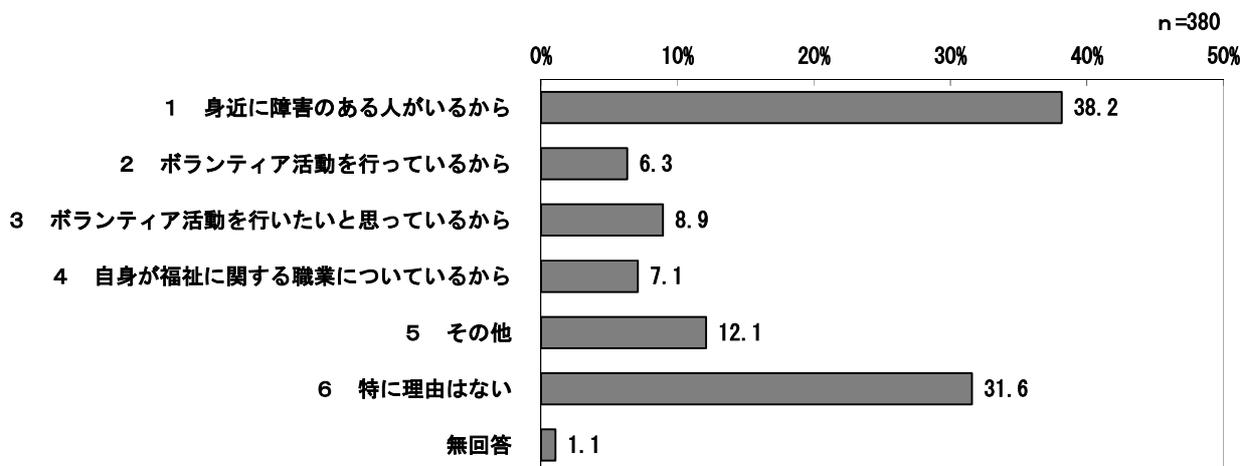
「2 少し関心がある」が48.7%で最も多く、次いで「3 あまり関心がない」が30.6%、「1 とても関心がある」が17.4%、「4 全く関心がない」が0.3%となっています。



▼問7で「1 とても関心がある」「2 少し関心がある」を選択した方にお聞きします。

問7① どのような理由から関心をお持ちですか。

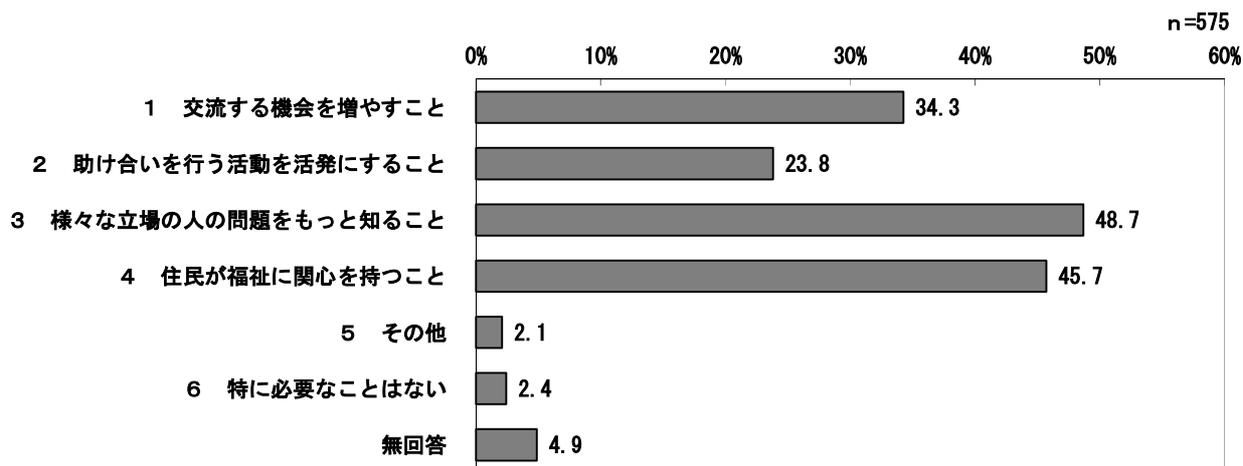
「1 身近に障害のある人がいるから」が38.2%で最も多く、次いで「6 特に理由はない」が31.6%、「5 その他」が12.1%、「3 ボランティア活動を行いたいと思っているから」が8.9%、「4 自身が福祉に関する職業についているから」が7.1%となっています。



●主な「その他」記入:どのような事が困難なのか理解はしておきたいから/母が養護学校の教師だった為/過去にボランティア活動をしていた/公平性の原点から/同じ人として/自分はその立場になる事もあり得る/など

問8 あなたの住む地域の福祉をより充実させるためには、住民にとってどんなことが必要だと思いますか。

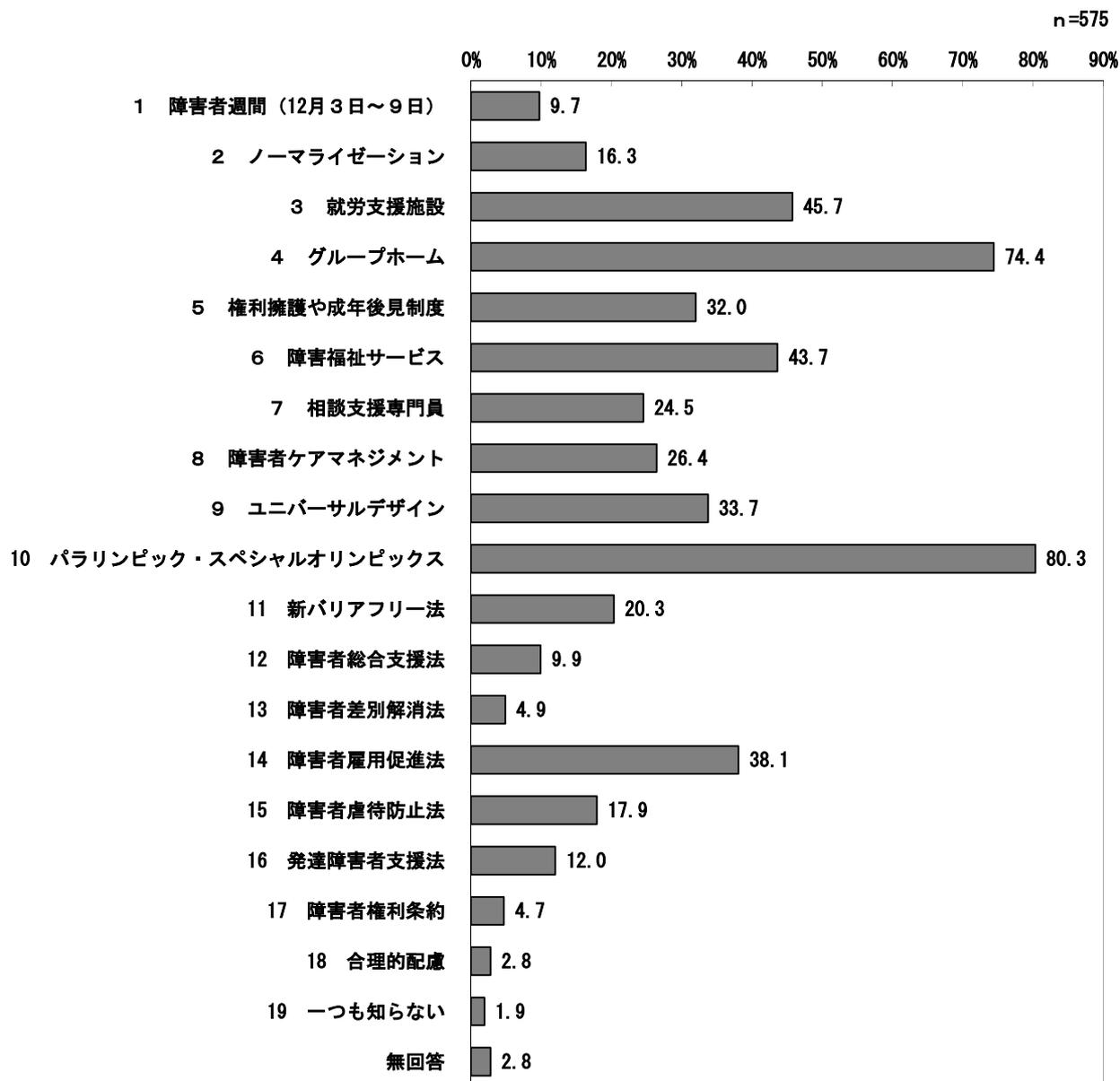
「3 様々な立場の人の問題をもっと知ること」が48.7%で最も多く、次いで「4 住民が福祉に関心を持つこと」が45.7%、「1 交流する機会を増やすこと」が34.3%、「2 助け合いを行う活動を活発にすること」が23.8%、「6 特に必要なことはない」が2.4%となっています。



●主な「その他」記入:住民の高齢化が進み、若者を住める環境を作る事が必要／正しい知識の普及／隣、近所が気さくにつき合えるようになる事／金銭面の補助の充実を／交通手段を手厚くしてほしい／など

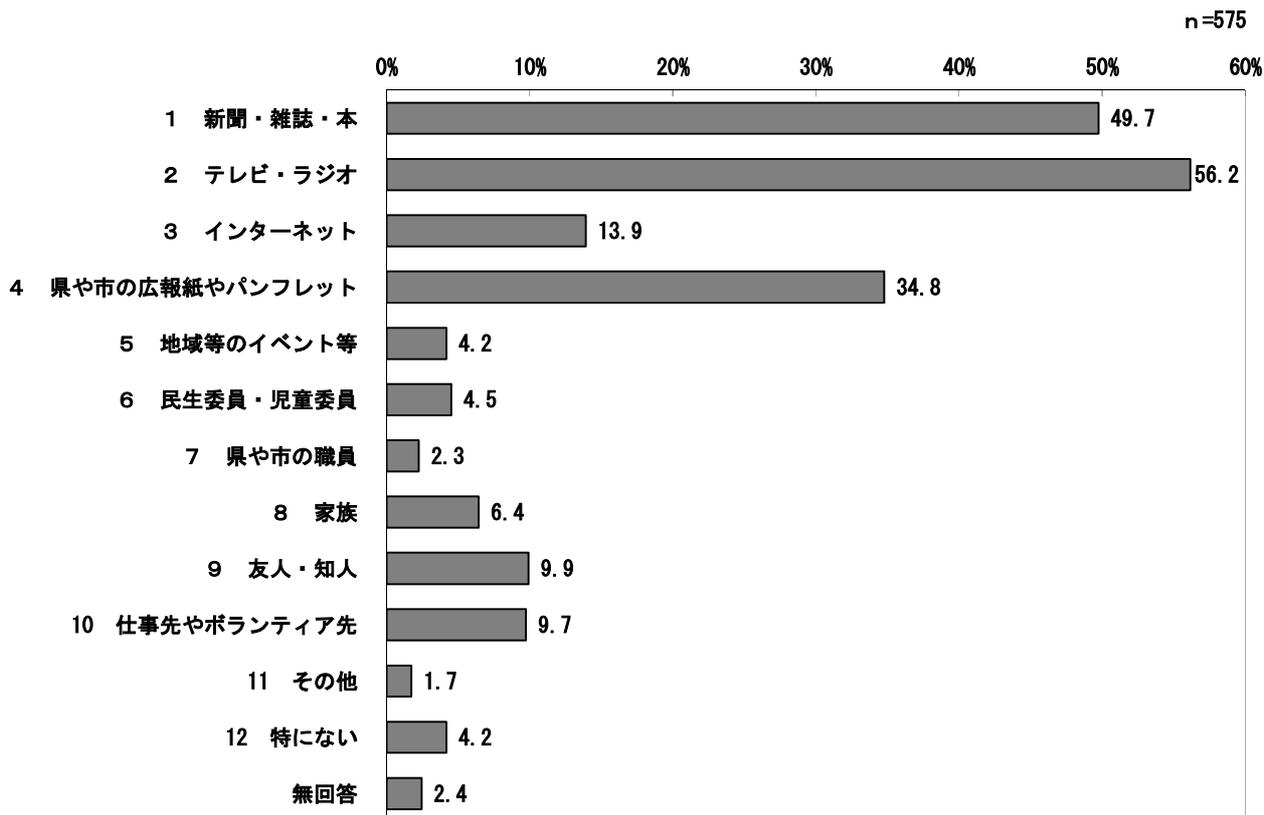
問9 次にあげる言葉などで、ご存じのものをお答えください。

「10 パラリンピック・スペシャルオリンピックス」が 80.3%で最も多く、次いで「4 グループホーム」が 74.4%、「3 就労支援施設」が 45.7%、「6 障害福祉サービス」が 43.7%、「14 障害者雇用促進法」が 38.1%となっています。



問 10 あなたは、福祉に関する制度や動きについての情報を、どのような手段で得ることが多いですか。あてはまるものをお答えください。

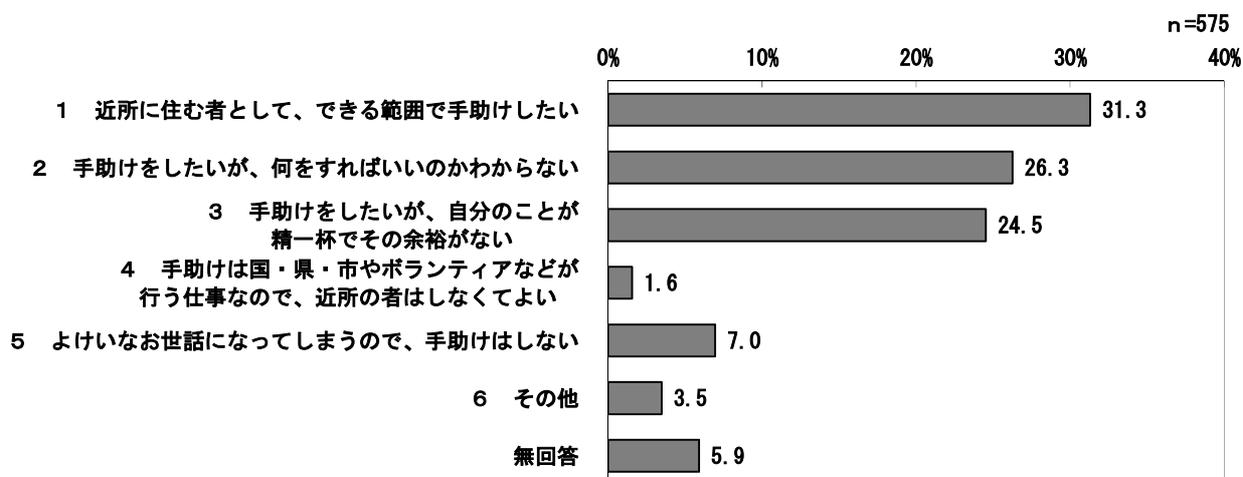
「2 テレビ・ラジオ」が 56.2%で最も多く、次いで「1 新聞・雑誌・本」が 49.7%、「4 県や市の広報紙やパンフレット」が 34.8%、「3 インターネット」が 13.9%、「9 友人・知人」が 9.9%となっています。



●主な「その他」記入：元ボランティアをしていた／近所にいらっしやらないので良くわかりません／母が行っているデイサービス／市議や県議の通信／情報は得ることがない。最低でケアマネジャよりのみ／など

問 11 近所に住む障害のある人に対する手助け（日常的なこと）について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

「1 近所に住む者として、できる範囲で手助けしたい」が 31.3%で最も多く、次いで「2 手助けをしたいが、何をすればいいのかわからない」が 26.3%、「3 手助けをしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」が 24.5%、「5 よけいなお世話になってしまうので、手助けはしない」が 7.0%、「6 その他」が 3.5%となっています。

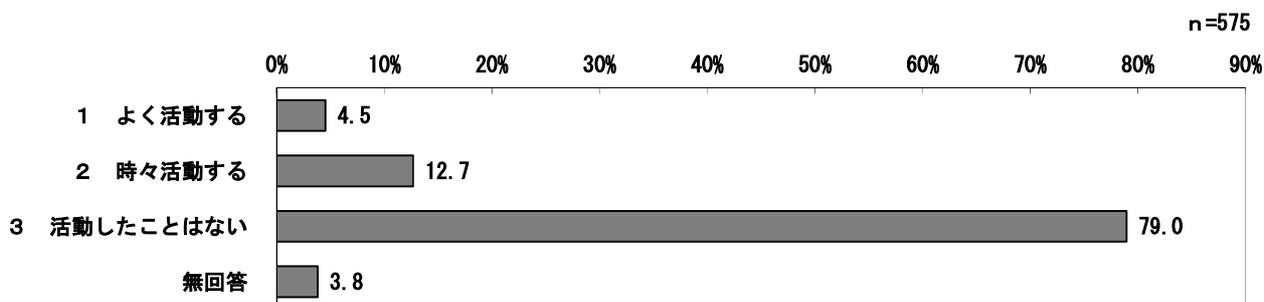


●主な「その他」記入：国民として、できる範囲で、見かねたら、手助けしたい／手助けをしたいが断られる／手助けがどの程度必要なのかわからない／実例がないのでわからない。あれば考えると思う／障害の度合いが高いのでわからない／など

【障害のある人との関わりについてお聞きします。】

問 12 あなたは、この1年間に障害のある人と一緒に活動したことはありますか。

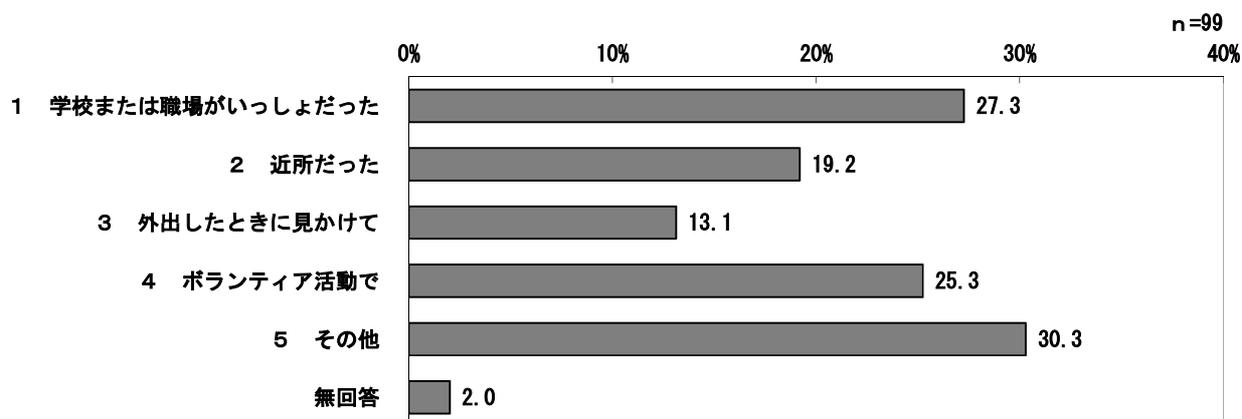
「3 活動したことはない」が79.0%で最も多く、次いで「2 時々活動する」が12.7%、「1 よく活動する」が4.5%となっています。



▼問 12 で「1 よく活動する」「2 時々活動する」を選択した方にお聞きします。

問 12① 何がきっかけで活動しましたか。

「5 その他」が30.3%で最も多く、次いで「1 学校または職場が一緒だった」が27.3%、「4 ボランティア活動で」が25.3%、「2 近所だった」が19.2%、「3 外出したときに見かけて」が13.1%となっています。

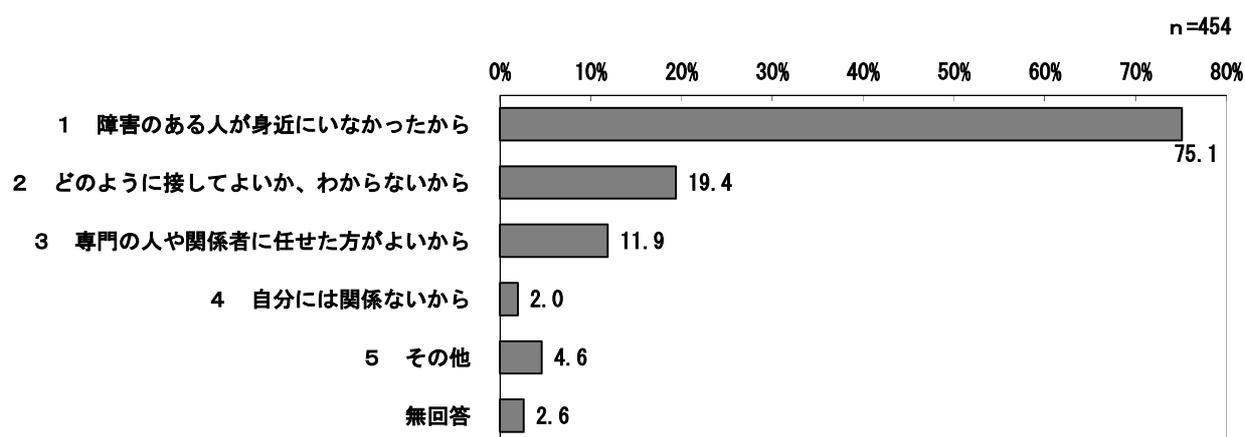


●主な「その他」記入: 親族・知人／子どもがダウン症と一緒に交流している／出会いがきっかけで、サポート中／家族／仕事で／友人が障害者／友人／共に生活している／店を営業しているので、客にすることができるかぎりの事はする／私の主人だから／以前近所でその後友人に／など

▼問 12 で「3 活動したことはない」を選択した方にお聞きします。

問 12② その理由は何ですか。

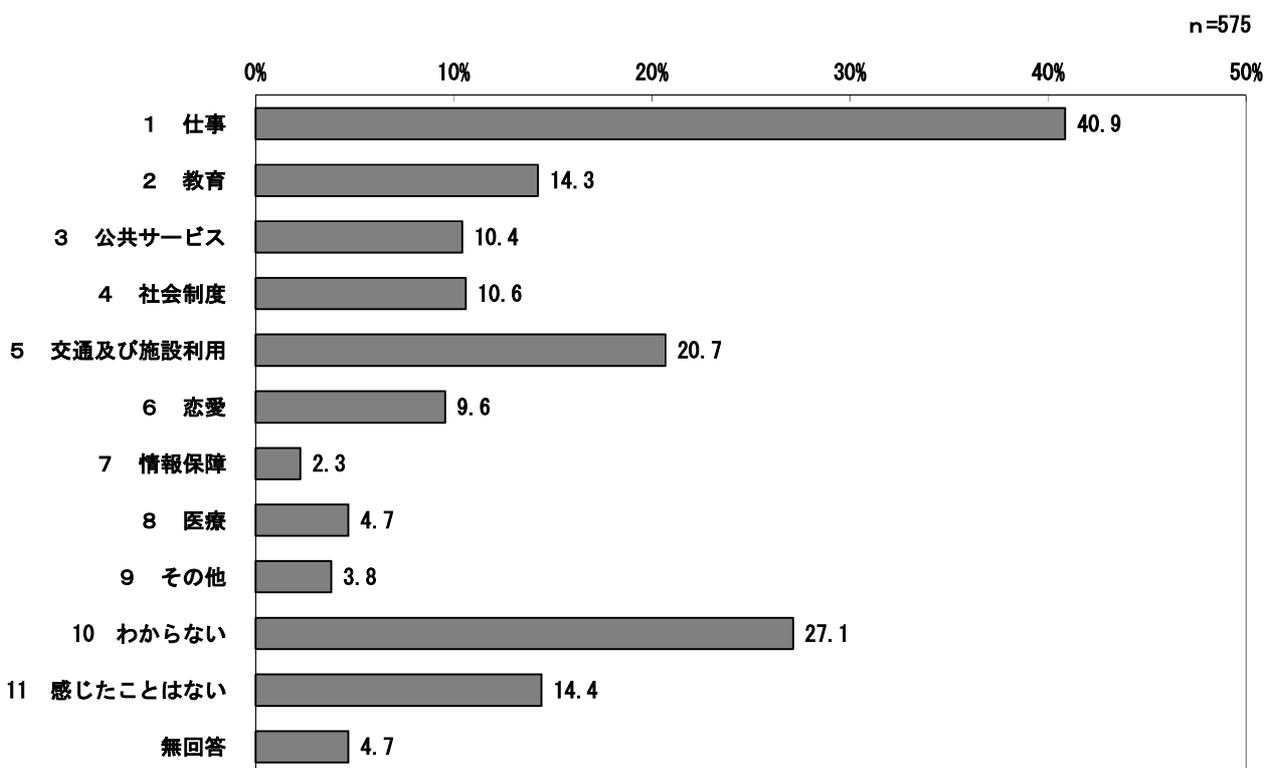
「1 障害のある人が身近にいなかったから」が 75.1%で最も多く、次いで「2 どのように接してよいか、わからないから」が 19.4%、「3 専門の人や関係者に任せた方がよいから」が 11.9%、「5 その他」が 4.6%、「4 自分には関係ないから」が 2.0%となっています。



●主な「その他」記入:機会がないから/余裕がないから/自身の体調不良のため/仕事や家事で精一杯/主人の事でいっぱいでした/障害者とふれあいが無かったから/など

問 13 障害のある人が、差別や権利侵害、偏見を受けていると感じたことはありますか。それは具体的にはどのような面ですか。

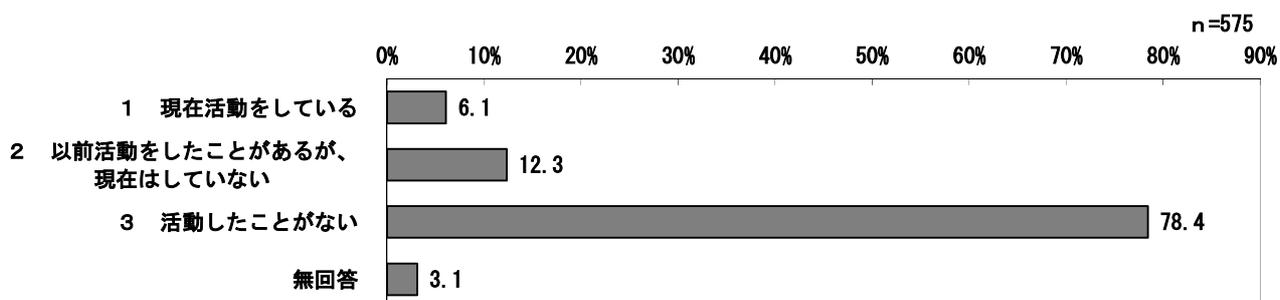
「1 仕事」が40.9%で最も多く、次いで「10 わからない」が27.1%、「5 交通及び施設利用」が20.7%、「11 感じたことはない」が14.4%、「2 教育」が14.3%となっています。



●主な「その他」記入：メンタルな病いで通院している方が、通院先で受ける差別を知りました／法律／TVの中で虐待しているのを観た／私自身に特別感があるのは否めません／最近障害者施設はとても良くなって来ている／テレビのニュースで障害施設で働いている人に対して職員が障害者の気持ちをわかっていない。／など

問 14 あなたは、障害のある人の手助けをするなど、福祉関係のボランティア活動をしたことがありますか。

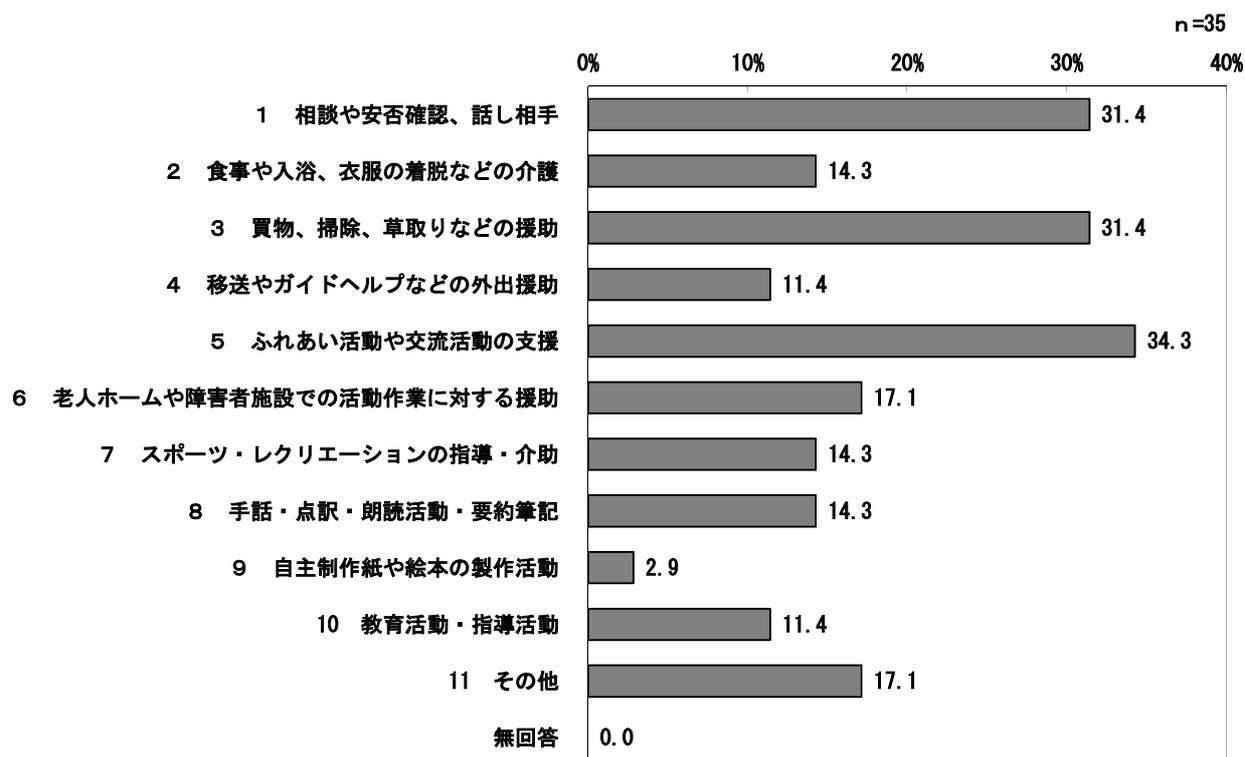
「3 活動したことがない」が 78.4%で最も多く、次いで「2 以前活動をしたことがあるが、現在はしていない」が 12.3%、「1 現在活動をしている」が 6.1%なっています。



▼問 14 で「1 現在活動をしている」を選択した方にお聞きします。

問 14① どのような活動をしていますか。

「5 ふれあい活動や交流活動の支援」が 34.3%で最も多く、次いで「1 相談や安否確認、話し相手」及び「3 買物、掃除、草取りなどの援助」が 31.4%、「6 老人ホームや障害者施設での活動作業に対する援助」及び「11 その他」が 17.1%となっています。

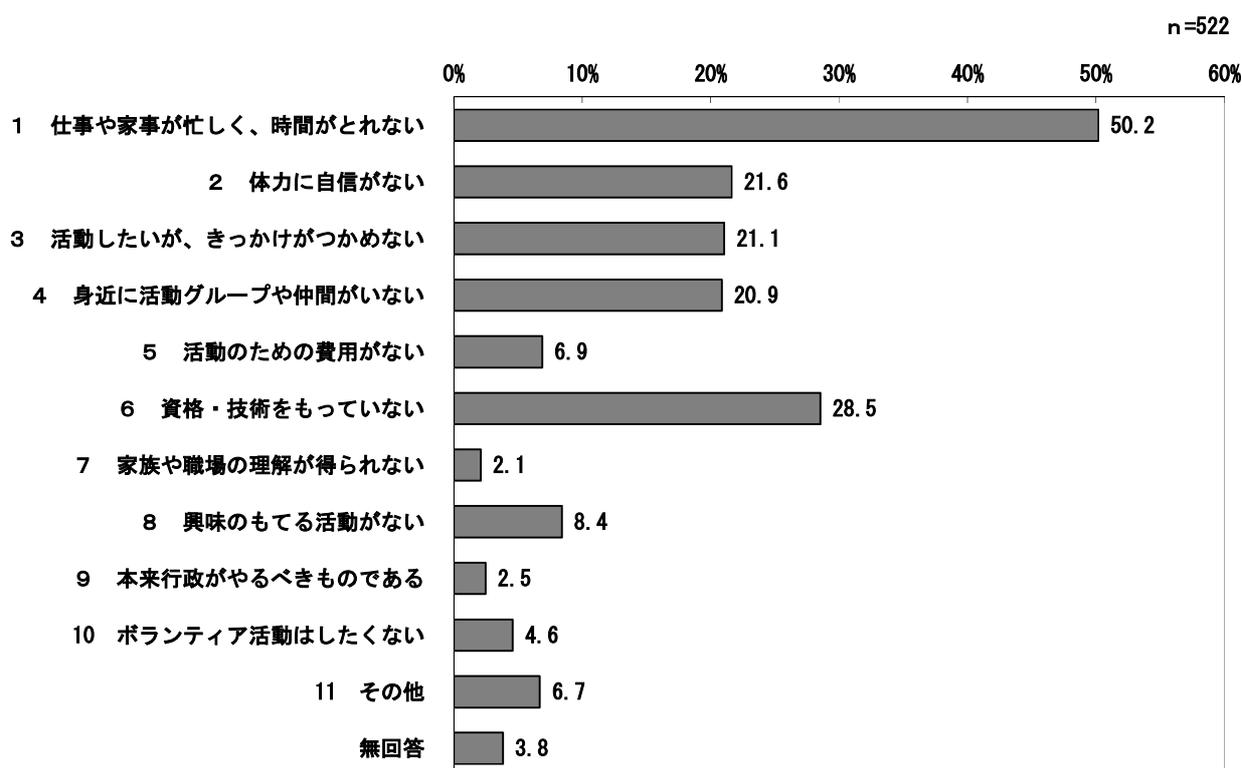


●主な「その他」記入：寄附／デイサービス etc. で紙しばい／在宅ヘルパー／授産施設でボランティア／活動にはお金がかかる(車代ガソリン代等)。自分の生活を考えながらしている／トイレの介助／など

▼問 14 で「2 以前活動をしたことがあるが、現在はしていない」「3 活動したことがない」を選択した方にお聞きします。

問 14② 活動していない理由は何ですか。

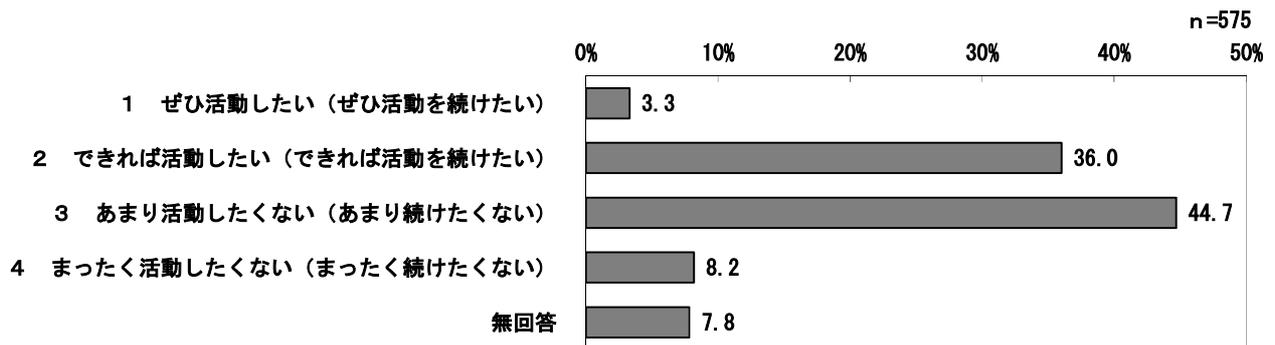
「1 仕事や家事が忙しく、時間がとれない」が 50.2%で最も多く、次いで「6 資格・技術をもっていない」が 28.5%、「2 体力に自信がない」が 21.6%、「3 活動したいが、きっかけがつかめない」が 21.1%、「4 身近に活動グループや仲間がいない」が 20.9%となっています。



●主な「その他」記入：両親の介護で余裕がない／良い関係のきっかけがあると活動出来る／ボランティア活動しようという積極的な意識が自分の中にない／子供が障害児の為世話が大変／特に活動ではないが近所で足腰不自由で立上がれない人を奥さんのヘルプで依頼されて・・・自分のことで精一杯になってしまった／など

問 15 今後、あなたは福祉関係のボランティア活動をしたと思いますか。また、現在活動中の方は、今後とも活動を続けていきたいと思いますか。

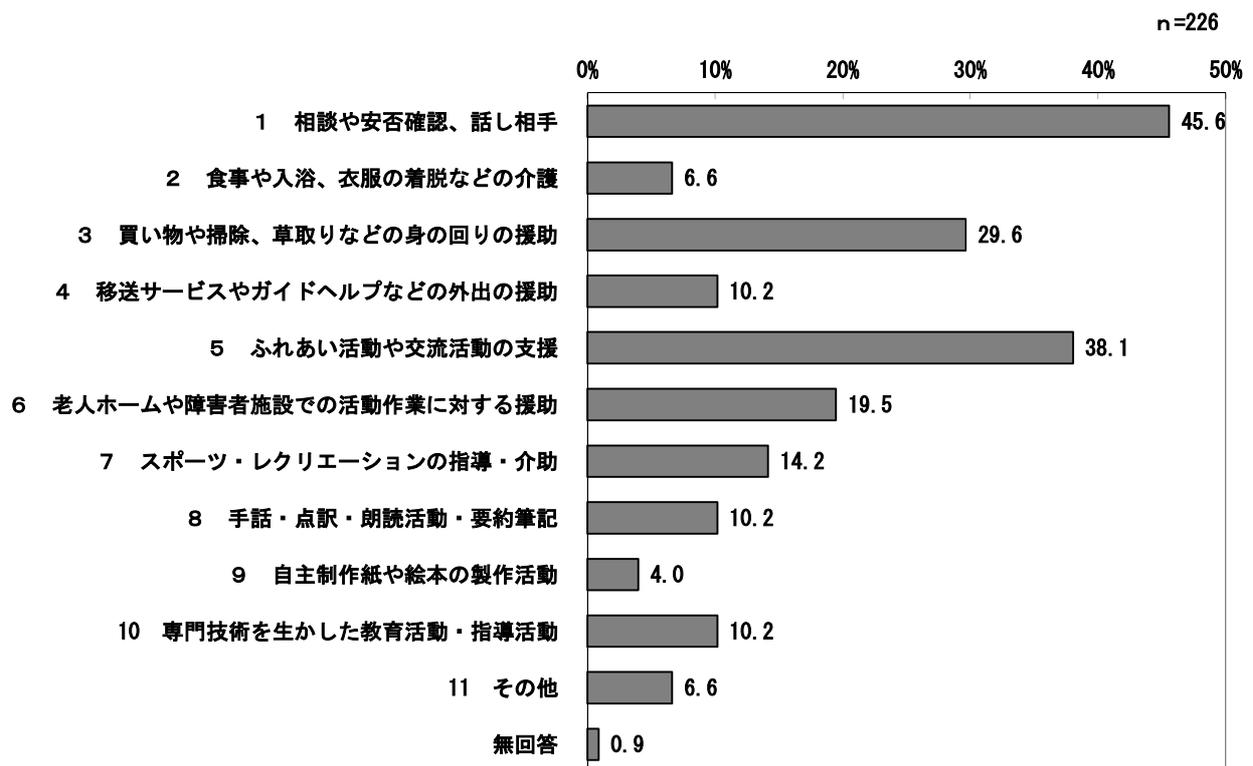
「3 あまり活動したくない（あまり続けたくない）」が 44.7%で最も多く、次いで「2 できれば活動したい（できれば活動を続けたい）」が 36.0%、「4 まったく活動したくない（まったく続けたくない）」が 8.2%、「1 ぜひ活動したい（ぜひ活動を続けたい）」が 3.3%となっています。



▼問 15 で「1 ぜひ活動したい」「2 できれば活動したい」を選択した方にお聞きします。

問 15① どのようなボランティア活動をしたいと思いますか。

「1 相談や安否確認、話し相手」が 45.6%で最も多く、次いで「5 ふれあい活動や交流活動の支援」が 38.1%、「3 買い物や掃除、草取りなどの身の回りの援助」が 29.6%、「6 老人ホームや障害者施設での活動作業に対する援助」が 19.5%、「7 スポーツ・レクリエーションの指導・介助」が 14.2%となっています。

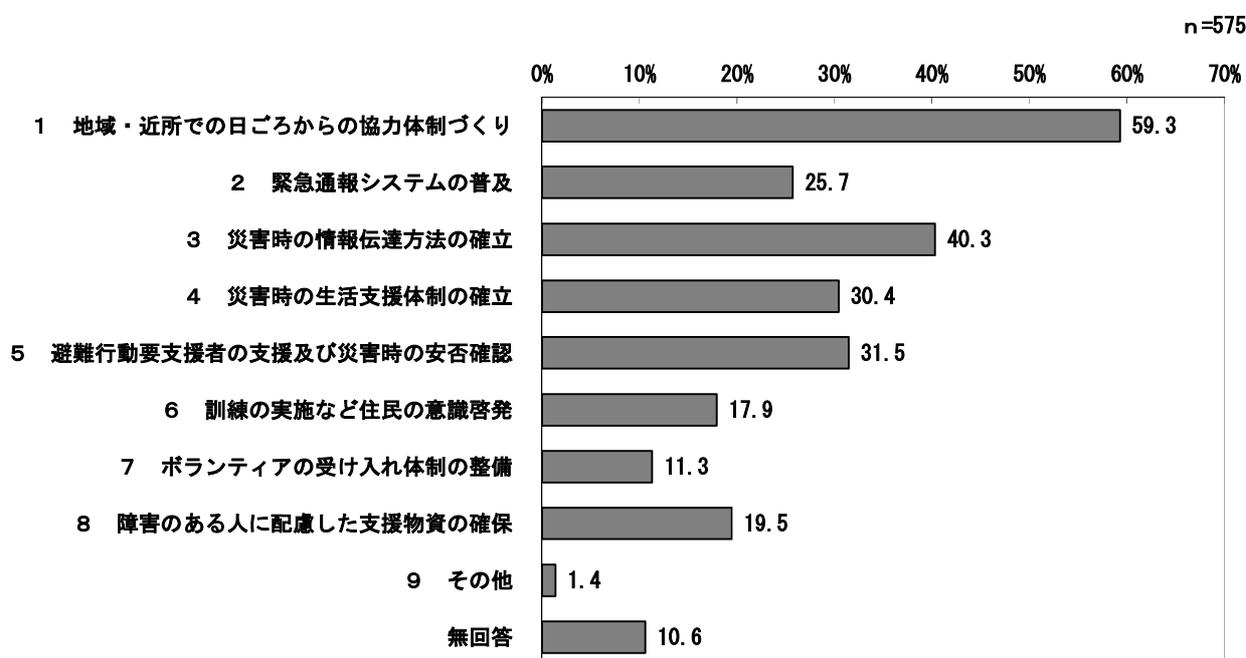


●主な「その他」記入：活動したことがないので、私が出きるかどうか分からない／通院などの送迎。車イス搭載のアルファードを所有／ボランティアセンターの活動の1つである、スノーバスターに参加したい／役立つならなんでも／機会があれば参加したいと思います、特にどのようなこととは具体的に考えているものはありません／など

【今後の行政の福祉施策についてお聞きします。】

問 16 地震や台風などの災害時に備えて、高齢者、障害のある人への対策として、特にどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

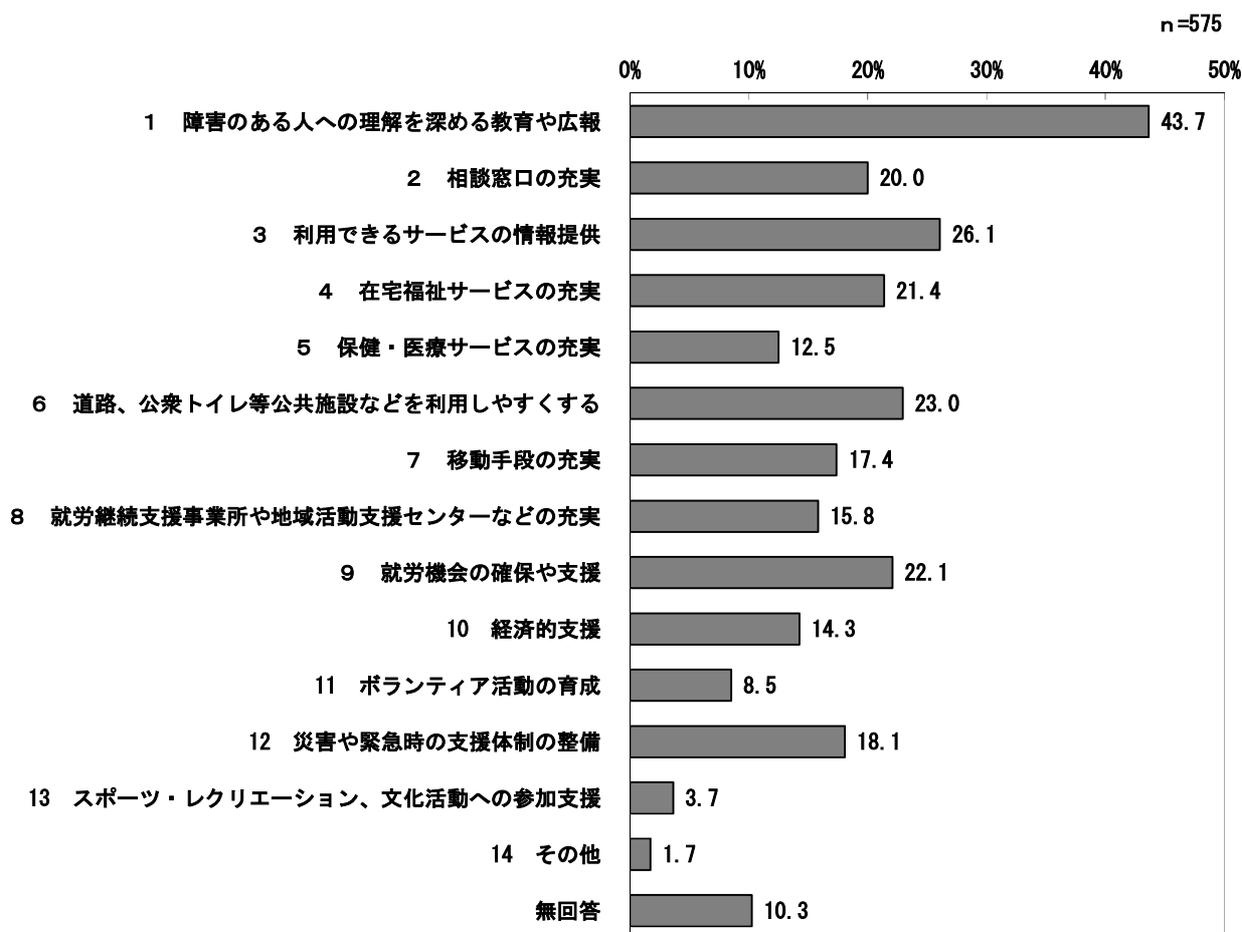
「1 地域・近所での日ごろからの協力体制づくり」が 59.3%で最も多く、次いで「3 災害時の情報伝達方法の確立」が 40.3%、「5 避難行動要支援者の支援及び災害時の安否確認」が 31.5%、「4 災害時の生活支援体制の確立」が 30.4%、「2 緊急通報システムの普及」が 25.7%となっています。



●主な「その他」記入:まずは健常者の災害時の備え/まず自分の家族が大事。家族を大切にすることは、他人に求めるものではないと思います/寝たきりの人の受入の先/初期非難の体制づくり/など

問 17 障害のある人にとって住みやすいまちをつくるためには、どのようなことが急務だと思いますか。

「1 障害のある人への理解を深める教育や広報」が 43.7%で最も多く、次いで「3 利用できるサービスの情報提供」が 26.1%、「6 道路、公衆トイレ等公共施設などを利用しやすくする」が 23.0%、「9 就労機会の確保や支援」が 22.1%、「4 在宅福祉サービスの充実」が 21.4%となっています。



●主な「その他」記入:行政自身をもっと理解をする事。職員の意識を改めて、窓口の改革が必要/サポーターの行動力・中堅サポーターによる啓蒙・養成活動/一時保護制度/健常者、障害者がともに行うイベントを増やす/など

長野市アンケート調査報告書

発行年月：平成 27 年 9 月

発 行：長野市

編 集：長野市役所 障害福祉課 企画管理担当

住 所：

電 話：026-224-5030